

5. 「小学生の音楽5」 点字教科書編集概要

点字教科書の最初には、次の説明を付けています。

<この教科書の書き方と点字の楽譜について> <5年1巻 点p1~7>

1 この教科書の書き方や順序

始めに、「歌詞」を書いています（一マス目の「」は1番の歌詞、「」は2番の歌詞です）。

次に、楽譜を書いています。下の例のように、一マス目から歌詞、次の行の3マス目から楽譜を、セットにして書いています。 で始まるのが音符などです。

(楽譜)

どんなひとともなかよくなれる

その後に、学習の内容などについて書いています。

ページの下の長い棒線の後には、速さの記号や作詞・作曲者などが書いてあります。速さの記号、例えば は、「1分間に （4分音符）を92打つ速さ」を意味しています。

2 点字楽譜について

(1) 音符・休符

音符は、上の4点（1 2 4 5の点）が音の高さ、下の2点（3 6の点）が音の長さを表しています。

(音符)

(休符)

(8分)

(4分)

(2分)

(全・16分)

16分音符（休符）は全音符（全休符）と同じ記号ですが、1小節の中の数で区別します。

(2) オクターブの記号

まん中の高さの音符には 5の点、高い音には 4 6の点、低い音には 4 5 6の点を、それぞれ音符の前に付けます。

(オクターブの記号の省略)

同じオクターブの中では、 のように、近くの音符（5度まで）へ移るときは省略できますが、離れた音符（6度以上）へは必ず付けます。隣のオクターブへ移るときは、

のように、近くの音符（3度まで）へ移るときは省略できますが、離れた音符（4度以上）へは必ず付けます。

（3）付点

音符や休符の後ろに「3の点」を付けて表します。♩♩♩♩のように後ろに「3の点」が付くと、♩♩♩♩の長さの一つの音符になります。

（4）小節の区切りとつなぎの記号

小節の区切りは一マスあけです。小節の途中でマスをあけたり、行を移すときは、「5の点」を付けてからマスあけや行移しをします。

（5）拍子記号（♩♩♩♩ ♩♩♩♩ ♩♩♩♩ ♩♩♩♩ など）

楽譜の最初に示しています。これらの前に ♩♩♩♩ や ♩♩♩♩ が付くと調子が変わります。

（6）強弱の記号

♩♩♩♩ — ピアノ（弱く）

♩♩♩♩♩ — メZZォ ピアノ（少し弱く）

♩♩♩♩♩ — メZZォ フォルテ（少し強く）

♩♩♩♩♩ — フォルテ（強く）

♩♩♩♩♩ — フォルティッシモ

♩♩♩♩♩ ♩♩ — クレシェンド（だんだん強く）の始まり・終わり

♩♩♩♩♩ ♩♩ — デクレシェンド（だんだん弱く）の始まり・終わり

(♩♩♩♩♩ ♩♩♩♩ は省略することもあります。)

これらの記号のすぐ後に1 2 3のどれかの点があるときは「3の点」を付けます。

（7）和音

和音（音の重なり）は、最初の音の後に、重なる音符の上4点（1 2 4 5の点）を1点下げて、

♩♩♩♩♩♩♩♩ —> ♩♩♩♩♩♩♩♩♩♩

のように書きます（下がり音符）。

「ドミ」の和音 —> ♩♩♩♩♩♩ ♩♩♩♩♩♩

「ドミソ□ドファラ□シレソ」の和音 —> ♩♩♩♩♩♩♩♩□♩♩♩♩♩♩□♩♩♩♩♩♩

（オクターブの記号は、和音の最初の音符の動きにだけ付けます。）

（8）その他の記号

♩♩♩♩♩ — 息継ぎ（ブレス）の記号 ♩♩♩♩♩ — カッコのブレス

♩♩♩♩♩ — 楽譜の終わり ♩♩♩♩♩♩♩ — 楽譜の一区切りの終わり

♩♩♩♩♩ — タイ ♩♩♩♩♩ — 和音のタイ ♩♩♩♩ — スラー

♩♩♩♩ — シャープ ♩♩♩♩ — フラット ♩♩♩♩ — ナチュラル

♩♩♩♩ — スタッカート ♩♩♩♩♩ — アクセント ♩♩♩♩♩ — テヌート

♩♩♩♩♩ — フェルマータ

♩♩♩♩ — 3連符の記号

♩♩♩♩♩ ♩♩ — 繰り返し記号

♩♩♩♩♩♩ ♩♩♩♩♩ — 主旋律の始まりと終わりを示す記号

5年の原典のページと点字のページ

(注) 以下、(p2)等は「原典ページ」、<点[2-p1]> <点p1>等は点字の巻ページです。

音楽と社会をつなぐテクノロジー (p2) <点[2-p1]>

<点字 第1巻>

5年生 学習 マップ (p4) <点[1-p1]>

(この教科書に出てくるマークとキャラクター) (p6・裏表紙) <点[目次p4-8]>

<この教科書の書き方と点字の楽譜について> <点p1~7>

(心をつなぐ歌声)「Believe」(p8) (歌詞) <点p9> (合唱の楽譜(1)パート) <点p11>
(2)パート) <点p14>

1 歌声をひびかせて心をつなげよう (p10) <点p17>

曲の感じを生かして、明るい声で歌いましょう (p10) <点p17>

「すてきな一歩」(p10) (歌詞) <点p17> (主な旋律の楽譜) <点p19>

(合唱の楽譜(1)パート) <点p20> ((2)パート) <点p21>

曲の特徴を生かして、明るい声で歌いましょう (p12) <点p23>

「こいのぼり」(p12) (歌詞) <点p23> (主な旋律の楽譜) <点p25>

(強弱記号を付けた楽譜) <点p26> (こいのぼりのお話) <点p29>

2 音の重なりを感じ取ろう (p16) <点p31>

リコーダーの音が重なり合うひびきを感じ取りながら演奏しましょう (p16) <点p31>

「小さな約束」(p16) <点p31> (リコーダー1) <点p31> (リコーダー2) <点p32>

(短調の音階と長調の音階) (p17) <点p33> (合わせよう) (p17) <点p35>

歌声が重なり合うひびきを感じ取りながら合唱しましょう (p18) <点p36>

「いつでもあの海は」(p18) (歌詞) <点p36> (主な旋律の楽譜) <点p37>

(合唱の楽譜(1)パート) <点p38> ((2)パート) <点p39>

(旋律の重なり方のちがい、図) (p19) <点p40>

いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながらききましょう (p20) <点p44>

(きこう→鑑賞)「アイネ クライネ ナハトムジーク 第1楽章」(p20) <点p44>

【楽器図鑑】弦楽器の仲間を知ろう(p22) <点p47> (バイオリンなど図) (p22) <点p49>

(参考曲)「愛のあいさつ から」(p23) <点p48> (神谷未穂さん) (p22) <点p51>

3 いろいろな音のひびきを味わおう (p24) <点p53>

いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながら演奏しましょう (p24) <点p53>

「リボンのおどり」(p24) (リコーダー1、歌) <点p54> (リコーダー2、歌) <点p55>

(木琴、鉄琴) <点p56> (低音楽器、タンブリン) <点p57> (小だいこ、歌詞) <点p58>

(進め方) (p25) <点p59> (がくふ マスター) (p25) <点p61>

(ト音記号とヘ音記号) (p24) <点p63> 五線譜で音符を書くとき、低い音をト音記号の楽譜で表そうと

すると、たくさんの加線が必要になります。そういうときには、ヘ音記号の楽譜を使います。(図) <点p65>

オーケストラのひびきに親しみましょう (p26) <点p68>

(鑑賞)「祝典序曲」(p26) <点p68> (考える) 三つの旋律 (p28) <点p69>

(参考曲)「アメリカン シンフォニー」(p29) <点p73>

打楽器の音色や音楽の仕組みを生かして、リズムアンサンブルをつくりましょう (p30) <点p74>

(音楽づくり) 打楽器でリズムアンサンブル (p30) 「1」<点p74> (楽器の例) <点p75>

「2」(p31) <点p76> 「3」(p32) <点p78> 「4」(p32) <点p79> 「5」(p33) <点p80>

4 和音のひびきの移り変わりを感じ取ろう (p34) <点p84>

和音のひびきの移り変わりを感じ取りながら歌いましょう (p34) <点p84>

「静かにねむれ」(p34) (歌詞) <点p84> (歌の楽譜) <点p85> (ハ長調の和音) <点p87>

<点字楽譜の和音の表し方> <p89> 点字楽譜では、和音を次の順番で書きます。

(1) 元になる一番下の音符

(2) 重なった音符を、高さを表す 1 2 4 5 の点の部分だけ 1 点下げて書いていきます。

(例) $\begin{matrix} \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \end{matrix}$ — $\begin{matrix} \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \end{matrix}$ $\begin{matrix} \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \\ \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \end{matrix}$ の三つの音符が重なった和音。

和音のひびきの移り変わりを感じ取りながら合唱しましょう (p36) <点p90>

「こげよマイケル」(p36) (英語歌詞) <点p90> (日本語歌詞) <点p91>

(英語歌詞の楽譜) <点p92> (日本語歌詞の楽譜) ((1)パート、(2)パート) <点p93>

((3)パート) <点p94>

(参考曲)「こげよマイケル」(p37) <点p97>

和音のひびきの移り変わりを感じ取りながら旋律をつくりましょう (p38) <点p98>

(音楽づくり)「静かにねむれ」の和音で旋律づくり (p38) <点p98>

(ワークシート) (p39) <点p100>

5 曲想の変化を感じ取ろう (p40) <点p105>

曲想の変化を感じ取って、明るい声で歌いましょう (p40) <点p105>

「夢の世界を」(p40) <点p105> (歌詞) <点p105> (主な旋律の楽譜) <点p106>

(合唱の楽譜 (1)パート) <点p108> ((2)パート) <点p110> (がくふ マスター) (p40) <点p113>

曲想を生かして合奏しましょう (p42) <点p115>

「キリマンジャロ」(p42) (けんばんハーモニカ) <点p115> (リコーダー) <点p117>

(けんばん楽器) <点p118> (低音楽器) <点p120>

6 詩と音楽との関わりを味わおう (p44) <点p123>

詩と音楽との結び付きに気を付けて、日本語の歌曲を味わいましょう (p44) <点p123>

(鑑賞)「待ちぼうけ」(p44) <点p123> (詩と音楽との結びつき) (p46) <点p124>

「待ちぼうけ」(p46) (歌詞) <点p126> (楽譜) <点p127> (錦織健さん) (p47) <点p129>

(工夫を見つけよう) (p48) <点p130>

(声の種類) (p49) <点p132>

(参考曲)「赤とんぼ」(p49) <点p132>

(歌声による演奏の形) (p49) <点p133> (参考曲)「この道」(p49) <点p133>

歌詞の表す情景を思いうかべながら歌いましょう (p50) <点p135>

「冬げしき」(p50) (歌詞) <点p135> (主な旋律の楽譜) <点p137> (合唱の楽譜) <点p138>

曲想を生かして歌いましょう (p52) <点p141>

「スキーの歌」(p52) (歌詞) <点p141> (主な旋律の楽譜) <点p143>

(強弱記号を付けた楽譜) <点p144> (合唱の楽譜) <点p145>

<点字 第2巻>

7 日本の音楽に親しもう (p54) <2-点p1>

曲想の変化を感じ取りながら、日本の楽器のひびきを味わってききましょう (p54) <点2-p1>

(鑑賞)「春の海」(p54) <点2-p1> (藤原道山さん)(p55) <点2-p5>

日本の旋律の美しさを味わいながら歌いましょう (p56) <点2-p7>

「子もり歌」(p56) (歌詞) <点2-p7> (旋律1) (旋律2) <点2-p8>

(がくふ マスター) (p56) <点2-p11>

音楽の特徴を感じ取りながら、日本の民謡をききましょう (p58) <点2-p12>

(鑑賞)「ソーラン節」(p58) <点2-p12> (鑑賞)「かりぼし切り歌」<点2-p12>

(図形楽譜) <点2-p15> (参考曲)「小さな淡黄色の馬」(p59) <点2-p17>

(チャレンジ)日本の民謡めぐり (p60) <点2-p18>

8 思いを表現に生かそう (p62) <点2-p24>

きいている人に、音楽のもり上がりが伝わるように演奏しましょう (p62) <点2-p24>

「威風堂々」(p62) (楽器1) <点2-p25> (楽器2) (楽器3) <点2-p26>

(楽器4) <点2-p27> (楽器5) <点2-p28> (がくふ マスター) (p63) <点2-p30>

(参考曲)「威風堂々 第1番」(p62) <点2-p30>

歌詞の表す気持ちを大切にしながら歌いましょう (p64) <点2-p33>

「それぞれの空」(p64) (歌詞) <点2-p33> (主な旋律の楽譜) <点2-p34>

(合唱の楽譜) <点2-p35>

歌いつごう 日本の歌 (p66) <点2-p39>

「ちいさい秋みつけた」(歌詞) (p66) <点2-p39> (主な旋律の楽譜) <点2-p41>

(強弱記号を付けた楽譜) <点2-p42>

「海」(p67) (歌詞) <点2-p44> (主な旋律の楽譜) <点2-p45>

(強弱記号を付けた楽譜) <点2-p46>

みんなで 楽しく (p68) <点2-p48>

「マイ バラード」(p68) (歌詞) <点2-p48> (主な旋律の楽譜) <点2-p50>

(合唱の楽譜(1)パート) <点2-p54> ((2)パート) <点2-p57>

「地球へ」(p70) (歌詞) <点2-p60> (主な旋律の楽譜) <点2-p62>

(合唱の楽譜(1)パート) <点2-p66> ((2)パート) <点2-p70>

「君は虹を見たかい？」(p72) (歌詞) <点2-p74> (主な旋律の楽譜) <点2-p76>

(合唱の楽譜(1)パート) <点2-p78> ((2)パート) <点2-p79>

「小さな鳥の 小さな夢」(p73) (歌詞) <点2-p80> (主な旋律の楽譜) <点2-p81>

(強弱記号を付けた楽譜) <点2-p82>

「失われた歌」(p73) (楽器1) <点2-p83> (楽器2) <点2-p84>

「大空がむかえる朝」(p74) (歌詞) <点2-p85> (主な旋律の楽譜) <点2-p86>

(合唱の楽譜(1)パート) <点2-p87> ((2)パート) <点2-p88>

「ほたるの光」(p75) (歌詞) <点2-p89> (主な旋律の楽譜) <点2-p91>

(合唱の楽譜(1)パート) <点2-p92> ((2)パート) <点2-p93>

「ギャラクシー — 銀河をこえて」(p76) (かけ声) <点2-p94>

(手拍子1) <点2-p95> (手拍子2) <点2-p97> (けんばんハーモニカ) <点2-p99>

「アフリカン シンフォニー」(p78) <点2-p101> (合奏の楽譜 (ア)) <点2-p102>

(リコーダー) <点2-p103> (けんばんハーモニカ) <点2-p105>

(木琴、またはけんばん楽器) <点2-p107> (低音楽器) <点2-p109>

(タンブリン) <点2-p111> (コンガ) <点2-p113>

【ふり返りの ページ】(1 音色～11 たてと横との関係) (p82) <点2-p114>

「君が代」(p86) (歌詞、楽譜) <点2-p119> (伴奏譜) <点2-p121>

【リコーダーの運指表】(p84) <点2-p123>

<鍵盤の図> <点2-p125>

【ハ長調とイ短調の和音】(p85) <点2-p127>

【いろいろな音階】(p85) <点2-p129>

【いろいろな音符・休符・記号】(p84) <点2-p131>